

## 谷川 幽ノ沢V字状岩壁右ルート

大田原

【日時】 2006年11月5日(日)

【メンバー】 L飯田、栗原、山川、大田原

『晴れ女』山川さんのご利益で好天に恵まれた岩尽くし3連休。最終日は幽ノ沢へ向かう。前回に取り付き点の手前で引き返しとなったところだ。今日は我々以外にクライマーの姿はない。

前回同様、足元は沢掬えでアプローチの沢を辿る。1時間ほどで懐かしの(?)カールボーデンだ。前は垂れ込めるガスで頭を押さえつけられているような重たい印象だったが、今回は一転、静かで明るい。取り付きまで2ピッチほどザイルを出す。

取り付きに到着し、飯田-山川、栗原-大田原でザイルを組む。いざ参らんとするが、いまいちどのラインが1ピッチ目のトラバースルートか分からない。山川さんが飯田さんの指示のもと下り気味にルートを探るが、あまりよくないようだ。国境稜線にも急に暗雲がたちこめ、晩秋の冷たい風が不安感を掻き立てる。後続の我々は下らずに横なりに進む。どうやらそこが正解だったらしい。少々天気の手配が生じたものの、山川さん、栗原さんが奇数ピッチ、飯田さんと大田原が偶数ピッチをリードする形でツルベで登る。取り付きまではドキドキだったが、ルートに入ってしまうえばなんて事はない。階段状で快適なピッチが続く。超初心者の私にしてみれば簡単なのは大歓迎だが、支点がまばらなのはいただけなかった。さらにいただけなかったのは、気がつく自分がリードで核



【幽ノ沢を独占!! カールボーデンにて】

心部のピッチに突入していたことだ。前日の中央稜のIVにびびっていた私は今日の核心はフォローがいいな~と思っていたのだ。しかし、いざ来てみると「とても昨日と同じグレードとは思えないな」といった安心?残念?な印象を受けた。結局、ルート中は特別緊張するところもなく登山道へ飛び出したのだった。

前日に足の爪を剥がした私は、登山道の下りが最大の核心だった。皆さん、ノロノロ歩きですみませんでした。m( )m

【行程】幽ノ沢出合(6:25)~取り付き(9:10)~登山道(14:30)~芝倉沢出合(16:00)

【グレード】IV 【地図】茂倉岳